

ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

イコウ IKOU!

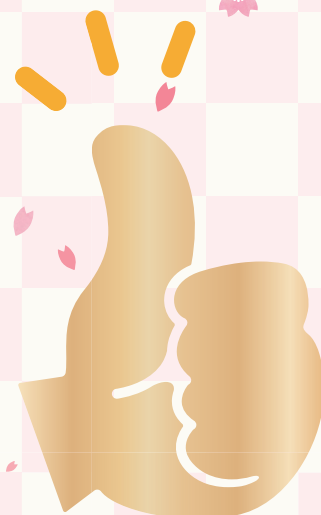
2022年 新春号

イコウ!
川柳コンテスト
最優秀賞受賞作品
(作：からあげさん)

大体は

なんとかなるよ

人生は



【巻頭特集】

百貨店の伝統を「イロトリドリノコセイ」が受け継ぐーお客様第一の心で社会に貢献

J.フロント リテイリング(株)特例子会社

(株)JFRクリエ 代表取締役社長 紀ノ崎広隆氏インタビュー

就労支援の「人」

(公社)日本精神保健福祉士協会 会長 田村綾子氏

いこう!就労移行支援事業所へ

“3つのコミュニケーション”が未来を創るージョブステーション(高田馬場・大井町・神戸長田・和歌山)

イコウ!川柳コンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構



でっちーくん

百貨店の伝統を「イロトリドリノコセイ」が受け継ぐ お客様第一の心で社会に貢献



さくらパンダ

「でっちーくん」「さくらパンダ」は、
㈱大丸松坂屋百貨店の公式 Mascot
キャラクターです



2017年9月 大阪府「障がい者サポートカンパニー」優良企業認定

2019年9月 大阪府「ハートフル企業教育貢献賞」受賞

2020年1月 厚生労働省「障害者活躍企業」認定



J.フロント リテイリング(株)特例子会社 株式会社 JFR クリエ

代表取締役社長 紀ノ崎広隆氏インタビュー

日本屈指の歴史を誇る老舗百貨店「大丸」と「松坂屋」に加え、常に最新の流行を取り入れて若者からも高い支持を得ている「PARCO」を展開しているJ.フロントリテイリング株式会社（以下、J.フロントリテイリング）の特例子会社である株式会社JFR クリエ（以下、JFR）は2017年の設立以来、「大阪府障がい者サポートカンパニー」優良企業に認定されたり、厚生労働省から「障害者活躍企業」に認定されたりと、自治体や行政からその障がい者雇用に対する取組みが評価されている。JFR クリエの取組みとは、一体どのようなものなのか。また、そこにある従業員の方々に対する想いとは何か。紀ノ崎広隆代表取締役社長にインタビュー形式でお話を伺いました。

JFR クリエの成り立ちや設立の背景を教えてください。

JFR クリエの親会社であるJ.フロントリテイリングが運営している百貨店「松坂屋」は1611年、「大丸」は17

17年の創業と、日本の百貨店の中でも歴史が長く、ふるくから「先義後利」「諸悪莫作 衆善奉行」※を社是として掲げて営業を続けてきました。そして現在、J.フロントリテイリンググループが目指す「環境・社会福祉活動の推進」「差別のない職場・社会」「障がい者雇用の推進と定着」を実現するために設立されたのがJFR クリエです。

なお、社名の由来ですが、これはグループのビジョンを実現する5つの考え方「JFR WAY」の一つ「未来を創ろう（Create The Future）」にある「クリエイイト」から来ています。

とても印象的な御社のシンボルマークについて教えてください。

私たちはシンボルマークを「イロトリドリノコセイ」と呼んでいます。当社では色々な障がいをもったメンバーが働いていますが、このマークもそのメンバーの一人が制作してくれました。「イロトリドリノコセイ」には「自分自身の特性を理解し、互いに尊重しあって活躍していきたい」という想いが込められており、私たちのことを

※「先義後利」…義を先にして利を後にする者は栄える／「諸悪莫作 衆善奉行」…諸悪を犯すなかれ、善行を行え

■ J.フロント リテイリング株式会社について ■



大丸心斎橋店

- 事業内容：百貨店事業・SC事業など連結会社23社
- 所在地：東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング
- 設立：2007年9月
- 連結総売上高：7,662億円（2021年2月期：米国会計基準）
- 連結従業員数：9,635人
- 資本金：319億74百万円



株式会社 JFR クリエ
代表取締役社長
紀ノ崎 広隆 -Kinosaki Hirotaka-

▼プロフィール▲
1991年(株)大丸入社。(株)大丸にて営業部門、企画部門、人事部門を担当。(株)大丸松坂屋百貨店 大丸京都店食品部長、JFRカード(株)営業企画担当部長、総務部長を経て2020年3月より(株)JFRクリエ代表取締役社長就任。



シンボルマークである「イロトリドリノコセイ」。色も形も違うそれぞれの図形は、角が丸みを帯びていて優しい印象だ。

うまく表していると思います。このシンボルマークにより、グループ内においても私たちの活動に対する理解が一層深まったと実感しています。

メンバーが実施している業務内容について教えてください。

当社では、J・フロントリテイリングのグループ会社が本来の業務に専念できるよう、バックオフィス業務を幅広く担っており、約40種類の業務を実施しています。この業務の数の多さには理由があります。

メンバーには色々な特性があり、それを活かせる業務もさまざまです。まずはメンバーが最も得意とする業務に従事してもらいながら、次第にできる業務の範囲を増やしていくことで、スキルアップを実現しているのです。ここでは、その一部を紹介いたします。

業務内容①：リボン製作

大丸や松坂屋で贈り物用などに使用されているリボンを月間約2万本製作しています。当社の行動指針の一つに「お客様第一の気持ちを忘れず仕事を通して幸せの実現をしよう!」というものがありますが、その指針に従い、「贈り物をされるお客様の気持ち」を大切にし、少しの歪みもないように丁寧につくっています。



誰もが一度は目にしたことのあるリボン。プレゼントにこのリボンが付いていると喜びもひとしお。



業務内容②：連絡便業務

札幌から博多まで84か所、毎日発着する書類や伝票などの連絡便を千通以上仕分けています。この業務では誤配を起さないように、ペアで読み合わせ、指差し確認を行っています。

業務内容③：封入作業

ダイレクトメールなどを月間約3万通封入しています。

◆お客様第一の気持ちを忘れず

JFR クリエの基本方針：“人”としての幸せの実現

＜みんなは一人のために、一人はみんなのために＞



- 1 明るく、元気に、前向きに＜決めたことは必ず実行しよう!＞
- 2 言い訳をせず、約束を守る＜信頼される人になろう!＞
- 3 お客様第一の気持ちを忘れず＜仕事を通して幸せの実現をしよう!＞



機械を使って丁寧にスピーディなダイレクトメールの封入作業を披露してくれた。

業務内容④：値札作成

大丸東京店など、首都圏の百貨店で使用する値札を作成しています。セール時などは、1日に5万枚作成することもあります。

業務内容⑤：テープ起こし

グループ会社の会議での音声を聞き取りながら文字データにしていく作業です。業界用語が飛び交う専門性の高い内容であっても、間違いなく文字にしていきます。グループ会社には関西出身者も多く、関西弁もよく交わされていますが、これらも標準語に変えていきます。

業務内容⑥：その他PC業務

書類の電子化をはじめ、百貨店の販売員の勤務シフトを月間約

●全てのメンバーに最適な業務をマッチングしたい

750人分入力しています。最近では、社用スマートフォンでのキックイン業務も始めました。

業務内容⑦：清掃業務

集中して取り組むことが得意なメンバーの活躍の場として、2021年6月からグループ会社のオフィス清掃を始めました。早朝から生き生きとフロアを掃除する姿とその品質で高い評価をいただいています。

障がいをお持ちの方に対する配慮の内容について教えてください。

2017年6月の設立から、当



取材をした日は、グループ会社で使用するスマートフォンのキitting業務が行われていた。

社におけるメンバーの定着率は知的障がいの方が93%、精神・発達障がいの方が80%と高い数値になっていますが、ここで定着率に寄与していると考えられる当社の取組みについて紹介します。

取組み①：就業時間・休日について

当社は始業が10時であり、睡眠障がいの傾向があつて朝が弱い方でも出勤しやすいように配慮をしています（清掃業務担当者のみ7時30分始業、メンバーの適性をみて任命）。また、初めて就労する人も働きやすいよう、実働は6時間としています。

休日については週休2日、日曜日以外に月曜日から土曜日との間で交代で休めるようになっていきます。平日に休めるので、通院や就労移行支援事業所などの支援員の方と会うのに有給休暇を使用する必要がありません。

取組み②：休憩について

休憩は1日5回、1時間ごとの

10分と昼休みの50分で合計1時間30分です。これはメンバーの集中力維持や、逆に集中しすぎてしまうことの防止になるとともに、メンバー同士がコミュニケーションを図る上でも有効に機能しています。また、1日に2回、10時と15時にラジオ体操でリフレッシュを図っています。



元気なラジオ体操の風景。

取組み③：指導員の担当&担任制

当社の指導員には、「担当」する業務と「担任」するメンバーをそれぞれ分担してもらっており、これにより実務面での課題と就労するうえでの悩みについてそれぞれ

●実習・訓練生の受け入れについて●

障がい者の方が活躍できるステージとして「雇用」と共に「職場実習」の場も提供

<JFR クリエは下記にも登録>

- 大阪府「精神障がい者社会適応訓練事業」協力事業所
- 大阪府「就職のための即戦力人材養成科」実施事務所
- 大阪労働局「職場実習受入事業所」



就労に向けて日々訓練されている方々を応援



▼生き生きと働き、より多くのお客様と社会に貢献

月に一度、メンバー全員でのミーティングの機会を設けています。ワークショップ形式で日々の気づきや振り返りなどを発表しており、これがメンバーの相互理解に役立っています。また、普段は話を

取組み⑤：全員ミーティング

体制を整えています。

取組み④：面談の実施

担任による定期面談（毎月・半期）を実施しています。面談では、個人課題の進捗とともにメンバーの状態を把握して適切な支援をするように努めています。さらに毎月一度、入社年次の浅いメンバーに対して（株）D&I※さんのご協力の下、産業カウンセラーに面談をしていただいております。社内の人間には言いづらい悩みも相談できる体制を整えています。

相談しやすい環境をつくっています。また、指導員間ではチャットアプリで即時情報を共有するなど、一貫したフォロワー体制を構築しています。

※（株）D&I…障がいをお持ちの方の教育と雇用に関する課題を解決するプロフェッショナル企業 <https://d-and-i.jp/>

しないメンバーとのコミュニケーションの場にもなっています。

取組み⑥：プロジェクト活動・OJT

チームで課題や解決策を検討する活動をしています。これを通じてやりがいや創造性、リーダーの育成につながっています。また、OJTでは、できるようなった仕事で、自信を持ってもらおうきっかけにしています。

取組み⑦：ありがとうカード

メンバー同士で感謝の気持ちを伝え合うためのカードです。カードには「ありがとうの理由」を書き、随時渡すことができます。「ありがとうカード」が5枚たまると表彰もされます。最近では、派生カードとして「いいね!!カード」も誕生しました。これは「いいね!」と思ったら渡すものであり、「ありがとうカード」よりも渡しやすく、これによって人に気持ちよさを感じる機会が増えました。

取組み⑧：クリエイティブギャラリー

イラストであったり、詩であったり、手芸作品であったり…メンバーの特技や趣味の発表の場として公開しています。普段は話すことの少ないメンバーとも共通の趣味でコミュニケーションをとる契機となっています。なお、グループ会社の方にも鑑賞してもらい、楽しんでもらっています。

取組み⑨：財形貯蓄の奨励

計画的な生活、ひいては人生設計のために、財形貯蓄による積立



個性と才能があふれるクリエイティブギャラリー。メンバーの意外な一面がみられることも。



（給料からの天引きにより積み立てる貯蓄制度）を奨励しています。

■今後の展望を教えてください。

JFRグループのルーツは大丸と松坂屋であり、それぞれ300年、400年という歴史を持つ百貨店です。その社是、「先義後利」「諸悪莫作 衆善奉行」には、「お客様・社会貢献」を何よりも第一優先で考えるという意味が込められています。私たちもこの企業理念を大切に、「暮らしの『あたらしい幸せ』を發明する。」というグループビジョンのもと、障がいをもった方々が生き生きと働き、より多くのお客様と社会に貢献する会社を目指し、事業を拡大していきたいと考えています。



取材には紀ノ崎社長（右）と業務グループの山岸卓也マネージャー（中央）、佐々木正浩スタッフ（左）にご対応いただいた。

▶株式会社 JFRクリエ◀



- 所在：〒569-8522 大阪府高槻市紺屋町2番1号 松坂屋高槻店5階
- TEL：072-684-8068
- 設立：2017年4月3日 / 特例子会社認定：2017年9月1日
- 株主：J. フロントリテイリング株式会社（100%）
- 従業員数：34名※（内 障がい者28名＜知的17名・精神10名・身体1名＞）



<https://jfr-create.jp/>

※2021年6月1日現在



いこう！就労移行支援事業所へ！



取材をしたこの日は、おしゃべりをするイベントが開催されていた。テーマは「給食」。
参加者は、昔食べた給食を懐かしみながら、会話に花を咲かせていた。



面談室にある見学・体験者の方へのメッセージブックには「利用者さんが増えると友達が増えるみたい」「利用者さん同士の話し合いが何よりも楽しい」とある。

＜今回お伺いした事業所＞



高田馬場・大井町・神戸長田・和歌山

“3つのコミュニケーション”が未来を創る

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこにはやはり事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは、実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

雑談こそが明日の就職の力となる

東京都、兵庫県、和歌山県と合わせて4拠点にて展開するジョブステーション。今回は東京都品川区にあるジョブステーション大井町に伺ったが、この事業所は利用者が「ハートフルなコミュニケーション」に包まれ、生きていく力を優しく温かさとともにチャージできる場所だった。まずは「スタッフとのコミュニケーション」について、副所長の加藤真由美さんが語ってくれた。

「資格取得の勉強をしたり、面接の練習をしたりする利用者さんにもいますが、まだまだその段階にはいなくて、まずは生活のリズムを整えたり、人との会話に慣れることから始める必要性のある方もいます。そうした方の訓練では、例えば午前中を雑談に充てることも少なくありません。生い立ちや趣味の話から誰にも話せない秘密の話まで、利用者さんは様々な話をしてくれます。家族にも話せない内容であっても、支援員は第三者として話しやすいのだと思います」

雑談を通じて利用者への理解度は、質の高い支援に結びつく。人となりや



にこやかな笑顔で取材に迎えてくれたジョブステーション大井町 副所長 加藤真由美さん。

抱えている悩みがタイムリーに分かるから、訓練において的確なアドバイスができるのだ。

「利用者さんに対する私たちスタッフの共通の想いは『社会に出た後どこに行っても可愛がられて、イキイキと活躍して欲しい』ということ。まるで自分の子を社会に出す、といった感覚かもしれませんね（笑）」（加藤副所長）

利用者が利用者と呼ぶ

次に、「利用者同士のコミュニケーション」について教えてくれた。

「見学や体験の方には、少しでも不安な気持ちを和らげて、アットホームな歓迎ムードを感じて欲しい。そのような想いを利用者さんが持ってくれていて、いつも積極的な声をかけてくれています。これによって『通所してもやっていけそう』と思ってくれる方も多いのではないだろうか。誰よりも新しい利用者さんを待っているのは、利用者さん達なのかもしれません」（加藤副所長）

こは、利用者が利用者と呼ぶ事業所なのだ。だから、グループワークも活発。コロナ禍以前は「ものづくりワーク」として料理実習も頻繁に行っていて、たこ焼きづくりは大会にも発展するなどの盛り上がりを見せていたという。

動物が与えてくれる癒し

三つ目は「動物とのコミュニケーション」。ジョブステーション大井町では田久賢一 所長のペット（犬・猫）が事業所にやってくる。とても人に慣れていて、吠えず、おりこう。「撫でて撫でて」とやって来ては、利用者に癒しを与えてくれる。ペットを飼いたくても飼えない利用者は大喜び。安らぎ効果もあるこの「ペットセラピー」は大好評の名物イベントなのだ。



通所を検討されている方へ

「当事業所に連絡をしてくれる方の中には、勇気を振り絞ってきてくれる方も少なくありません。私たちは、その気持ちを決して裏切りません。一歩だけ、一歩だけ前に進む勇気を出して手を伸ばしてくれたら、後はお任せください！」（加藤副所長）

スタッフ・利用者・動物たちはいつでもあなたからの連絡を心待ちにしていることだろう。

事業所お問合せ先情報

●ジョブステーション高田馬場

東京都新宿区高田馬場 3-3-2-5F

TEL : 03-5338-2090

●ジョブステーション大井町

東京都品川区大井 4-1-2-4F

TEL : 03-6429-7171

●ジョブステーション神戸長田

兵庫県神戸市長田区腕塚町 5-5-1

アスタくにつか1番館北棟1F001-1

TEL : 078-798-5420

●ジョブステーション和歌山

和歌山市太田 1-14-7-4F

TEL : 073-474-7711

ジョブステーション HP▶<http://jobstation.life/>



わたしたち！就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

明日を夢見るあなたに寄り添います。

アスミル大田原（栃木県）



栃木県大田原市本町
1-2701-11
サイトーバルコニー 102
◆TEL 0287-47-6000
◆E-MAIL info@asu-mil.com

<http://www.asu-mil.com>

これが事業所の名物ワーク！

プランターで季節の花や野菜作り

とれたての野菜でカレーやけんちん汁
を作ってみながら楽しく食べるイベン
トです。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

アスミルの理念である「勇気」「愛情」「信頼」「希望」を胸
に明日を夢見るあなたに寄り添ってまいります。私たちと一
緒に夢を実現し、感動を共有いたしましょう。

あなたの色が、のびのび出せる生活へ

パレット稲毛海岸（千葉県）



千葉県千葉市美浜区高洲
3-14-5 細川ビル 4F

◆TEL 043-305-5053
◆E-MAIL ik@hisyo-work.com

<https://www.palette-chiba.jp/inagekaigan/>

これが事業所の名物ワーク！

サークル活動

利用者さんが企画をして活動
を行います。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

私たちの事業所は『個性』を大事にしている事業所で、自分
らしさを出して活動できることを目標としています。そのため
事業所ではグループワークやコミュニケーションをとること
ができる講座が多く、職員も個性溢れる事業所です。ぜひ
一度見学にお越しください。お待ちしております。

お仕事と人生を楽しくフォーム〈形成〉しましょう！

フォーム竹ノ塚（東京都）



東京都足立区竹の塚 1-27-1
タケカビル 5F

◆TEL 050-3708-5720
◆E-MAIL takenotsuka@form.or.jp

<https://form.or.jp/>

これが事業所の名物ワーク！

- ・現役プログラマのITグループワーク
- ・月末極上グルメ（肉多め）
- ・無農薬でメンタル改善もできる農業実習



障がいをお持ちの方へのメッセージ

「財」宅訓練
あなたに寄り添うフォームでありたい
来てみようかな、また来たい、
と思える明るく楽しい雰囲気を大切にします

自分を大切にすること・自信をもって選択すること

Nagu 豊中（大阪府）



大阪府豊中市本町 4-1-22
第15千里ビル 2F D号室

◆TEL 06-6151-9673
◆E-MAIL info_toyonaka@nagu.me

<https://nagu.me>

これが事業所の名物ワーク！

ハロウィンパーティ

開所周年記念イベントも兼ねて
盛大に行います。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

就労を目的とするだけでなく、「人生をもっと楽しいものに
する」「未来がもっとわくわくできるようになる」ことが、
なにより大切です。あなたが本当に楽な気持ちでいられるよ
う、あなたの声にうなずき、あなたの考えに寄り添いながら、
ゆっくりとサポートします。ぜひ、一度私たちに会いに来て
ください。

イコウ!川柳コンテスト結果発表

イコウ<2021年秋号>にてご案内した「イコウ!川柳コンテスト」にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。ここでは、読者の皆さまの素晴らしい作品の中から表彰作品について、紹介いたします。<主催> 一般社団法人社会福祉支援研究機構

最優秀賞



からあげさん

<コリード甲府 / 山梨県>

表彰の言葉

そう、そうなんですよね、大抵のことはなんとかなるんですよね。気負わず、無理せず、自分のペースで、2022年も着実に歩んでいきましょう。ほんわかとした元気のもらえる素敵な作品です。



優秀賞



白黒愛好家さん<パスセンター大船 / 神奈川県>

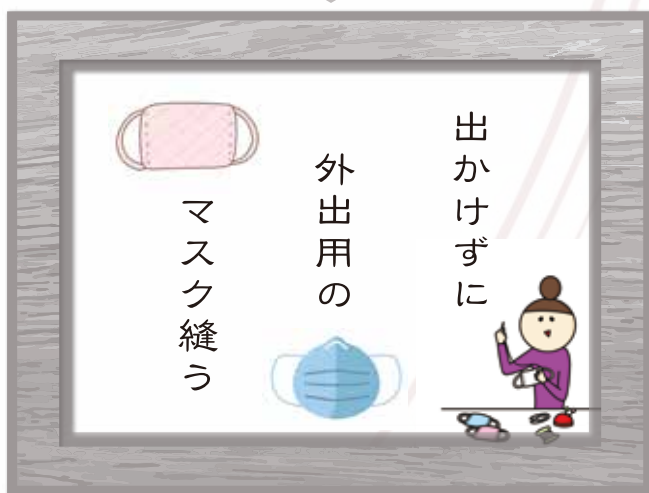
表彰の言葉

今年の6月に東京都の上野動物園で生まれたパンダの双子ですね。「もふもふ」という言葉が愛らしい質感を良く表現できています。

谷津千里さん<アポーヨ柿田川 / 静岡県>

表彰の言葉

コロナ禍ではしっかりと自粛なされていたのですね、お疲れ様です。そして、せっせとマスクづくり。少しのおかしみのある良い作品です。





山Pさん<リセル布施 / 大阪府>

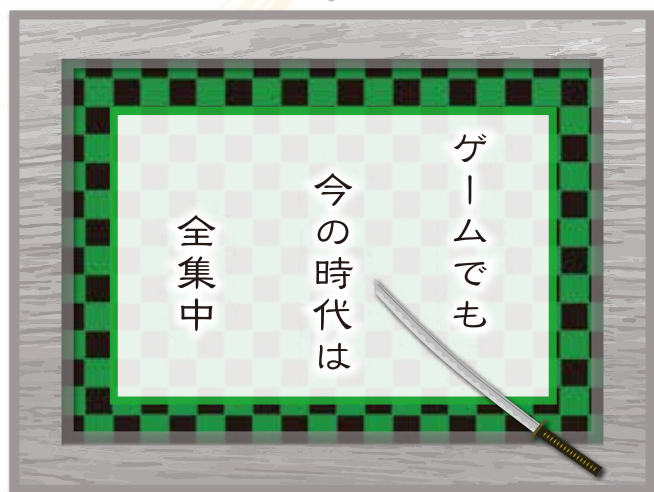
表彰の言葉

人生観が変われば、身の回りの全てのことが変わりますよね。「よし！私も学ぼう！」と前向きな意欲を感じさせてくれる作品です。

アンダー40さん<アフレッシュいわき / 福島県>

表彰の言葉

出た！2021年、映画史を塗り替えたあの作品ですね。ブームを捉えた良いテーマ選びです。2022年も「全集中」でGO！



<受賞者の皆さまには、作品を額縁に入れて贈呈いたします>

第2回『折り句コンテスト』作品募集のご案内

◆**折り句とは**…古くから日本にある言葉遊びの一種で、一つの文章や詩の中に、別の意味を持つ言葉を織り込む「あいうえお作文」のようなものです。お題の言葉の一つひとつの頭文字をとって、お題に関係のある文章にします。

❖お題

何でも可です。応募される方が自由に設定をしてください。複数作品応募可。

❖応募形式

①紙などへの手書きデータのスキャンデータ

②テキストデータ

※手書き、テキストともにイラストの有無は問いません。

❖募集期間

2022年1月15日(土)～2月15日(火)

❖結果発表

2022年3月発行予定『イコウ』2022年春号誌上にて

❖優秀作品について

折り句作家 MIKAKO さんの折り句グッズを進呈いたします。

❖応募方法

作品に氏名(ペンネーム可)を添えて、ご契約の就労移行支援事業所(社会福祉支援研究機構加盟)にご提出ください。

※本誌に掲載させていただく場合は、事前にご連絡をいたします。

<主催>



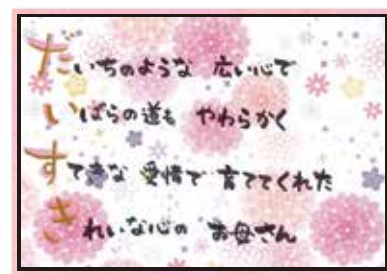
一般社団法人社会福祉支援研究機構

<協賛>



日本折り句協会

<http://www.oriku.or.jp/>



第1回折り句コンテスト MIKAKO 賞受賞作品
作者：南香織さん(ラ・レコルト枚方)

<事前講習イベントのご案内>

審査委員長・MIKAKO 先生による
「誰でも楽しめる折り句講座」

◆2022年1月15日(土)11:00～11:50

◆実施方法：ZOOM(ウェビナー使用)

◆講師：MIKAKO 先生

※詳細は事業所内の案内等でご確認ください。



前回(2021年2月6日)
開催の折り句講座風景

就労支援の人

障害者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

Profile

神奈川県横浜市出身。公益社団法人日本精神保健福祉士協会会長、日本精神保健福祉士学会 学会長、聖学院大学 心理福祉学部部長 兼 心理福祉学研究科長。現在に至るまで社会福祉振興・試験センター 評議員、日本ソーシャルワーク教育学校連盟 理事、上尾市地域福祉推進協議会 会長など、様々な要職を歴任。直近では『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職』など、著書も多数。

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 会長

聖学院大学 心理福祉学部部長 兼 心理福祉学研究科長／教授

田村綾子氏 Ayako Tamura

精神保健福祉士について

社会福祉士・介護福祉士と並ぶ福祉系三大国家資格の一つ。
精神障害者に対する相談援助などの業務に携わる人の国家資格。

「福祉」と「人の心」への関心

私が福祉というものを初めて気に留めたのは、今思えば小学生の時でした。『若草物語』などを読み貧困や「孤児院」の存在を知ったり、伝記『ヘレン・ケラー』を読んで三重苦を持ちながら、サリバン先生との出会いによって可能性が引き出されたヘレンの姿に気持ちを揺さぶられたりしていました。それから時が進み高校時代、進路を決める際に障害者福祉を学ぼうと考えて社会福祉学科に入学しました。

また、大学受験の勉強をしている時から「人の心理」に興味を持つようになつていたため、大学では臨床心理学のゼミに入りました。指導教授は臨床心理士として精神科病院に勤務経験のある先生で、学生の私は実習に行く機会が得られました。3年次に国立（当時）の精神科病院で実習したのですが、これが非常に楽しかったのです。「興味深かった」というより、文字通り楽しい時間を過ごしたのです。

強烈な印象を残した精神科実習

実習では入院患者さん達と気取ることなく会話を楽しみ、カラオケやソフトボールをしました。宿泊実習だったので夜も病棟に遊びに行ったりしました（後で病棟の看護長さんに注意されてしまいました）。

初めて入った精神科病棟は私にとって、「のびのびと過ごせる場所」と感じた記憶があります。それは、患者さんの本音やありのままの姿を

障害者就労のキーパーソン、精神保健福祉士

見聞きし、精神障害者の一端を知った強烈な体験でした。

当事者を主体として

私は精神保健福祉の世界でキャリアを積んで現職に就いていますが、職能団体である日本PSW協会（当時）で、精神保健福祉士の国家資格ができるよりはるか以前の出来事からの教訓を学びました。それは、ある患者さんから「あなたたち（PSW）が援助だと思ってやっていることは人権侵害である」と指摘され、当事者へのかかわりのスタンスについて問いかけられたことがきっかけだったといえます。そして、自分達の立場を幾度となく検証し、障害のある人びとの自己決定を尊重して支援をする者であろうという価値観が築かれたのです。精神保健福祉士の資格者はこのことを学んでおり、私も同様です。

今思えば、患者さんたちの飾らない姿に触れた病院での実習体験は、そうした姿勢の大切さを理解するうえで重要なプロセスだったのです。

広がる精神保健福祉士の活躍範囲

精神保健福祉士の当初の役割は、入院患者の社会復帰の支援でした。そこから次第に地域社会へと範囲が広がり、生活支援を行うようになりました。ここまでは、精神保健福祉士法で規定されている支援対象範囲です。一方、私は大手メーカーの健

康支援センターで長年非常勤もしているのですが、企業で働いていてメンタルヘルスやストレス対処のサポートが必要な方は増えていきます。将来的にはさらに精神保健福祉士法の対象を広げる必要があります。さらに、従来は不調を訴える本人にスポットが当たりがちでしたが、その周囲の環境にも着目しなければなりません。精神保健福祉士は、職場や地域社会が持つ課題にも目を向け、環境を変える働きかけができる存在だと思っています。

不調の内容を見極めて適切な支援を

当然ながら、精神障害を持つ方々には様々な就労の可能性があります。それにも拘らず、多くの人びとは長期入院や差別等の結果として、その機会を奪われていました。近年、法改正もあつて精神障害を抱えながら就労をする方が増えており、精神保健福祉士はこの方々を支援する立場にあります。

就労に向けた訓練や職場の選定など支援は多岐にわたりますが、中でも「働く方の心の調子・病状の見極めと環境改善」が大切です。業務における不調を安易に精神疾患のせいにはせず、よく話を聴き、過労などのストレスや生活上の悩みによるメンタル不調を見極め、適切な生活支援をすると共に、関係者への働きかけや医療機関との橋渡しなどを通して、継続的な就労のフォローをしていきたいと思っています。





最新の取り組みのご報告

第7回みんなの EXPO (アレルギー)に参加しました

就労移行支援について、多くの方にご紹介するために

10月26日、新宿京王プラザホテルにて行われた「第7回みんなの EXPO (アレルギー)」に参加しました。当日は情報ブースを出展し、多くの方に就労移行支援について紹介しました。なお、都内にある加盟事業所からは、運営ボランティアとして利用者さんが参加くださいました。

また、会場内セミナーでは加盟事業所「フォーム竹ノ塚」のサービス管理責任者である奥澤拓史さんが講演者として登壇されました。



スペシャルプログラム「繋がっているよ!笑顔になろうよ!」 第24・25弾を開催しました

苦手な方でも掃除がはかどる3つのポイント

10月2日、(一社)日本室内空気保健協会 代表理事の加藤美奈子先生より、「知って得する『お掃除』と『健康』の関係」をご講演いただきました。お掃除おススメアイテムの紹介もありました。



腸をよくすることで健康になろう

9月11日、萩谷麻美先生による「今日から実践できる腸活の基本〜腸活で幸せになろう〜」を行ないました。腸の中にある菌の説明や働きなどを分かりやすくご説明いただきました。



スペシャルプログラム「繋がっているよ!笑顔になろうよ!」では、コロナ禍中、ビデオ会議システムZOOMを活用して全国各地の就労移行支援事業所だけでなく、在宅訓練をされている利用者さんとも繋がり、様々なイベントを行っています。

近日の開所情報 2021年12月1日現在 72 事業所

ー2021年10月開所ー

◆フィン大橋北◆



福岡県福岡市南区向野2丁目12-8 眞鍋ビル1階
<https://www.fin-ohashi.com/access/ohashikita/>
TEL :092-555-7533

ー2021年9月開所ー

◆エール近鉄八尾西口◆



大阪府八尾市北本町1-3-30
ハーモニアス北本町2F 201A
<https://rise.net/kintetsuyaonishi/>
TEL :072-990-2135

ー2021年9月開所ー

◆ジョブステーション神戸長田◆



兵庫県神戸市長田区腕塚町5-5-1
アスタくづか1番館北棟地下1階 001-1
<https://www.jobstation-kanto.com/kobenagata/>
TEL :078-798-5420

一般社団法人 社会福祉支援研究機構 加盟就労移行支援事業所 (全国 72 事業所)

今後日本各地で開所・加盟が
予定されています。

全国に
支援の輪が
広がって
います!



❖題字の作者



MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみんなと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可）／イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず）／川柳／俳句／短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。

※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖

発行人：佐野敏夫 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也

TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

社会福祉支援研究機構の目指す 「就労移行支援」

① 一人でも多くの“一般就労”を実現

② 最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③ “一般就労”実現の輪を全国に

就職実績累計

令和3年3月31日時点

1,661名就職

資格合格実績累計

令和3年6月30日時点

6,425名合格

目指せる資格は70種類以上

<目指せる資格一例>

- ❖P検(ICTプロフィエンス検定協会)❖ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルカリリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級❖
- ❖秘書検定❖ ❖サービス接遇検定❖
- ❖ビジネス文書検定❖ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級❖ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)
- ❖ナラティブメディエーター講座

★…試験免除プログラム対象資格 ❖…事業所内受験対象資格



一般社団法人
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

